'12.12 月号
vol.321

鼓童

6年振りの共演「坂東玉三郎特別公演」

■ トピックス　坂東玉三郎特別公演
■ 特集 鼓童文化財団研修所 2012

第二部「いぶき」のエンディング場面（写真: 岡本隆史）

気がつけば、師走。鼓童の舞台で一年を締めくくろう！

鼓童通信

2012年10月～11月

十／三一～十一／四　鼓童塾の様子。齊藤栄一が講師、研修生二年生がスタッフとなり、お互いに見ず知らずの二〇名の皆さんが太鼓でひとつになりました。（写真：メラニー・テイラー）

KANAMARU-ZA
金丸座

十一／一～十一

坂東玉三郎特別公演（香川・琴平町）

金丸座公演は、初めてのことばかりの、とても刺激的な十一日間となりました。遠い昔からの空気を残し続ける金丸座で響く太鼓の音はとても心地良く、温かかったです。今まで数えきれない程の人達に大切に守られてきた空間は、不思議と舞台と客席を一つにしてくれる力に溢れていたように思いました。

今回僕は初めて舞台で踊らせていただきました。毎日、毎時、毎秒、勉強させていただいて、とても緊張していましたが、自分の根っこの所から考え、学ばせていただくことができました。何より、沢山の方々の支えがあってこその連続公演だったと思います。本当にありがとうございました。この繋がりがこれからも末永く続きますことを願って。金毘羅様に手を合わせて帰ってまいりました。

（報告：小松崎正吾）

「金丸座」という芝居小屋は、僕の実家から、車で十分もかからないようなところにあります。まさに地元での公演ということで、家族、親戚はもちろん、たくさんの知り合いが見に来てくれました。研修所での二年間、全然連絡をとっていなかった友人が見に来てくれたり、地元のテレビや新聞などで取り上げてくださったお陰で、たくさんの応援メッセージを頂きました。今回、坂東玉三郎さんと共演という形で舞台に立ち、歌舞伎小屋の客席の雰囲気や、舞台上で見る玉三郎さんの姿など、新鮮な学びがたくさんありました。これからもっと自分を磨いて、またいつか、地元で公演できる機会があれば、今度は僕が太鼓に向かう姿で、皆さんに何か届けられるような打ち手になりたいです。

（報告：住吉佑太）

SOLO ACTIVITY
ソロ・小編成活動

十／三一～十一／四

鼓童塾～齊藤栄一の太鼓篇（新潟・佐渡）

二年ぶりの鼓童塾が研修所で行なわれました。二〇名のお互い初対面の参加者が、太鼓三昧の五日間を体験しに福島から沖縄まで、遠くから集まりました。進路を考える高校生、自分の道を再検討している二〇代、心の充電をしたいという中年の方もいらっしゃいました。「太鼓を上手に叩きたい！」「楽しく叩きたい！」「初めて叩いてみたい！」…性格と希望は二〇人二〇色でした。

全員で叩くと、太鼓も笑い声も雷のようになって、一人ひとりの鼓動も聞こえてくるようでした。皆さんが体を動かすほどに表情も緩んでいき、わずか数日前に同じフェリーでお互い「他人」だった方々が仲間に変わりました。皆さんが一緒に楽しめるようになったことで、太鼓の音もとても気持ちよくなりました。

心を込めれば、太鼓の音が良くなり、料理の味も美味しくなります。そしてやはり、人生に心を込めることは、とても気持ちのいいものだと再確認できました。

（報告：メラニー・テイラー）

十一／六　交流学校公演（新潟・加茂）

海外公演から帰って間も無くの学校公演。中には、時差ぼけ気味のメンバーも。当日はあいにくの雨となりましたが、学校に着き準備中に聞こえてくる児童たちの明るい声に本番への気持ちが高まっていきます。学校は一四〇周年を迎えるという節目の年。地域をあげて「鼓童をきこう」と、児童、先生方、保護者など、大勢の方が集まってくださいました。

公演がスタートし、肌寒いはずの体育館の空気が曲が進むにつれ、徐々にほぐれていくのを感じます。体験コーナー「やまびこゲーム」では大きい歓声や笑い声が起きていました。公演が終わり挨拶に並ぶと、アンコールの拍手が沸き起こり「空Ｓｏｒａ」を演奏。久しぶりの子ども達の表情がしっかり見える近い距離での公演に、新鮮さと元気をもらった公演でした。

（報告：小見麻梨子）

十一／九、十　第2回 世界の鼓童とともに 芸能の宝島・佐渡　おけさ・鬼太鼓・鼓童の祭典（新潟・佐渡市）

この舞台は、観光ツアーで佐渡に来たお客様が観光して、温泉に入って、美味しいもの食べて、メインイベントとして佐渡の芸能と鼓童を観るという何とも素晴らしい企画で、今年で二回目となります。そのような企画なので、老若男女色んな層のお客様にお越し頂けました。鼓

十一／十四　浅野太鼓楽器店の職人さんと演奏者の太鼓に関する意見交換のひととき。（写真：松田菜瑠美）

童は、最後に出演しましたが、楽屋で待機している時におけさや鬼太鼓の音や唄を聴いてると、「ああ…何か子供の頃にこうゆう所に親と旅行したな…」と、何だか懐かしい気分になりました。

めまぐるしく時代が次々変化していく社会で、形を変えつつも何処か懐かしさや暖かさを感じられる物をこれからも残し、後世へ引き継いでいけるよう精進していきます。お越しくださったお客様、共演者の皆様ありがとうございました。

（報告：小田洋介）

富田和明氏、齊藤栄一の共演

十一／九〜十一　和太鼓トーク齊富二〇一二スペシャル（東京・江東区）

富田和明さんとの「トーク齊富（サイト）」も三回目を迎え、毎回趣向を凝らして、今回はナント芝居仕立てです。九〇歳前後になった我々が〝現在〟を懐かしむという設定。お芝居なんて初めてですから、曲の練習よりも台詞を覚えて演技することに一苦労でした。

互いに意見を出しながら創る舞台ですが、もう一人忘れてはいけないのが元鼓童メンバーの平沼仁一さん。アイディアが煮詰まった時にアドバイスをくれたり、稽古の最終段階では客観的に観てもらい、全体の流れをシェイプアップしたりと、心強い縁の下の力持ちです。

また富田さんの太鼓教室の生徒の皆さんも舞台裏で大活躍、本当にお世話になりました。次回は四年後位かな!?

（報告：齊藤栄一）

村・KODO VILLAGE

鼓童村

十一／十四　浅野太鼓楽器店の職人さんとの交流会

悪天候の中を、浅野太鼓楽器店代表取締役社長の浅野恭央さんと職人の皆さん七名が鼓童村へお越しくださいました。一緒に昼食をとり、いざ稽古場へご案内。まずは歓迎に浅野さんの太鼓を使って演奏。長年使わせていただいている太鼓を、鼓童がどのように演奏しているのかを直に感じていただきました。その後は、演奏者達が太鼓について日頃感じたり、考えていることを率直に質問し意見交換。職人の皆さんからは、鼓童が通常どういうことを太鼓に求めているのかなど、いつまでも話が続いて行きそうな雰囲気でした。これからも作り手と打ち手がお互いの質を高めてゆくことが太鼓界を盛り上げることに繋がればと感じた一日でした。

夜の交流会は、メンバーの手料理でおもてなし。吉利さんのだし巻き玉子は大好評でした。

（報告：松浦充長）

作：宮崎正美（三コマ目：坂本雅幸、吉井盛悟、中込健太、前田剛史）

MEMBER NEWS

メンバー短信

鼓童メンバー決定のお知らせ

このたび、準メンバーの小松崎正吾、安藤明子、井上陽介、住吉佑太、花岡哲海の五名が、鼓童の正式メンバーに決まりました。新年一月一日より、気持ちも新たに活動を始めます。ぜひ応援してくださいますようお願いいたします。

スタッフ異動のお知らせ

ニュージーランド出身で翻訳や海外広報、制作に携わるスタッフのメラニー・テイラーが、オーストラリアの大学院で翻訳や通訳の勉強をするために、一月より活動拠点を移すことになりました。これからも翻訳や英文ニュースレター「Kodo eNews」の編集業務などを続けます。

初孫が誕生しました！

十一月二二日、鼓童創設メンバーの大井良明・キヨ子の長女・寛子さんに女の子が生まれました。名前は楓（かえで）ちゃん。鼓童グループ待望の初孫誕生、いよいよ三代目の登場です！

旧金比羅大芝居（金丸座）

坂東玉三郎特別公演

今回の坂東玉三郎さんとの共演について
公演を通じて得た実感を吉井盛悟に聞きました。

聞き手●松田菜瑠美　写真●岡本隆史

「坂東玉三郎特別公演」に臨んだ心境

率直な感想は、緊張しました。歴史のある舞台で、一幕の「雪」や「鐘ヶ岬」といった古典の演目のあとにやることは、正直大変恐怖に感じ、おこがましいことかもしれないと思いました。積み重ねてきた歴史が違いますし、持っている奥行きや音楽の洗練されている具合が違うのです。例えば、一幕の地唄が「いい年に採れた米で削りに削ってできた美味い酒」だとすれば、私たちの舞台は歴史から言ったらまだ浅い「できたてのお酒」のようなもの。古典のあとに演奏するのはとてもプレッシャーに感じました。でもそこは開き直って、新しいお酒をどういう風に美味しく飲んでいただくか。それが難しくて一番面白かったです。古典では出せない良さをどれだけ作って行けるか。歴史に向き合って、自分たちの音楽にも向き合う機会になりました。

旧金毘羅大芝居（金丸座）について

木造の空間で演奏することが好きです。太鼓を叩くと、芝居小屋が喜んでいるように感じるのです。空気が通るというか音の振動のシャワーを浴びて、柱や梁全部が、生きていた頃を思い出しているんじゃないかなと思います。「そうそう俺、木だったんだよね」って。そうすると太鼓からも開放的な音がするのです。外でたたいている時にも似た気持ちよさがあります。情緒も漂っていますし、素敵な場所だなと思います。これは日本が世界に誇れる良さです。

今回の特別公演について

一幕は、地唄舞の緊張感ある世界を皆でそっと見る感じ。そして鼓童の加わった二幕は、時空の向こうにいたような玉三郎さんが、垣根を越えて、最後には客席との一体感で終わる。この対比が、プログラムとして面白かったです。太鼓は客席と舞台の垣根を一気になくし、玉三郎さんとお客様をすごく近いところまで結び付ける力があると思いました。音楽的表現や芸術を超えたところで、皆がその場にいる喜びに満ち溢れる感覚でした。

演奏者として感じていること

今回求められた「踊り手のために演奏する」ということ。私は、踊り手がいる時は、演奏者の自由はないと考えています。その場面に立ち、とにかく一生懸命やってきたという感じです。

緊張する中で、単純に慣れたからできたというところがありましたが、玉三郎さんの振りを見て、反射的に「これにはこの音が良い」とできるような技術の必要性を感じました。踊り手と演奏者、お互いの息を合わせてニュアンスを変えられる。そこには決まり事と信頼感が求められます。普段のようなアドリブをなくし、毎日その場にそぐうものをとらえ表現することは、鼓童にとって新鮮な作業でした。前提としての「型」があっても、そこにゆとりと遊びが生まれてくるから面白いのだと思います。ただそこに行くのはなかなか大変だなと思いました。決まり事の中で自由に演奏できる技量を上げ、プラスアルファの産物が舞台に表れたらいいです。いいクオリティを出し続けられる演奏者として必要なことだと思います。今のレベルで満足してはいけないですし、鼓童は次に行かなければなりません。

見えてきた鼓童のこれからの課題

「このままじゃいかん」

それが私の一番大きかった気持ちです。

これまでの共演では玉三郎さんに導いていただいているような感覚がありましたが、これからは演奏者として玉三郎さんとどれだけ良い舞台をお客様に届けられるかというところに行かなければならないと思います。そういう意味でも今回は玉三郎さんが鼓童にとっての「高いハードル」を示してくださった公演でした。若手もベテランも、そこにみんな必死であったと思いますし、そこに精一杯になった人もいれば、その先が見えた人もいると思います。自分自身の物足りなさ、なかったものを得た感触。演奏者に様々なことを思わせた舞台でした。

鼓童単独でやっているだけでは見えなかった、鼓童のこれからの課題をたくさん持ち帰ってきました。

十一月十五日、鼓童村にて

DATA「坂東玉三郎特別公演」

日程: 11月1日(木)～11日(日)　計11回公演
会場: 旧金比羅大芝居(金丸座)　香川県琴平町
プログラム:
　第一部／地唄二題「雪」「鐘ヶ岬」
　第二部／坂東玉三郎×鼓童「いぶき」
出演: 坂東玉三郎、富山清琴(三絃、唄)、富山清仁(箏)、鼓童(藤本吉利、藤本容子、山口幹文、見留知弘、辻勝、宮崎正美、石塚充、阿部研三、吉井盛悟、中込健太、前田剛史、立石雷、小松崎正吾、安藤明子、井上陽介、住吉佑太、花岡哲海)
主催: 琴平町／「四国こんぴら歌舞伎大芝居」推進協議会

特　集

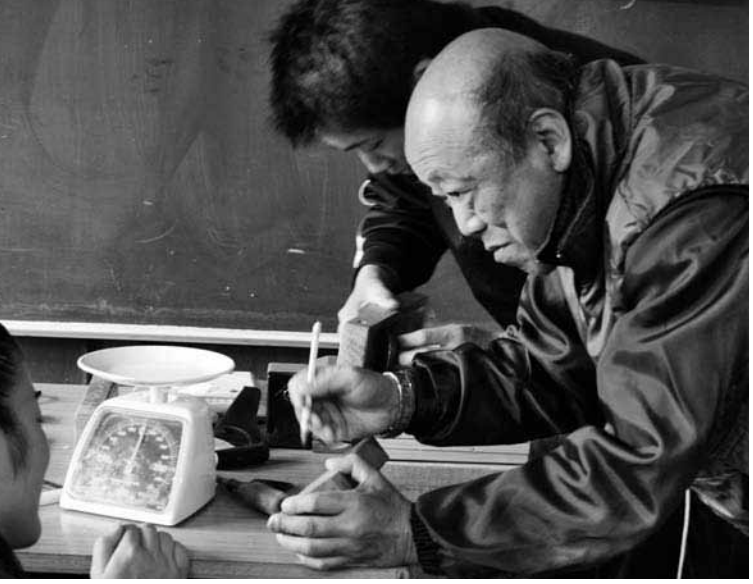
鼓童文化財団研修所2012

自分が知らない自分がまだ眠っているんじゃないか？　でも出すか出さないかは自分次第だと思う。

― 2年生の作文より ―

2013年度研修生募集中。12月25日（必着）まで受け付けています。

特集記事内の写真: 西田太郎、石原泰彦、千田倫子、洲崎純子ほか



体で覚えるものづくり

職人・西須殉治さんが教えてくださったこと

長年にわたり鼓童で使用している太鼓の台や舞台道具を作ってくださり、研修生もご指導くださった指物職人の西須殉治さんが、今年8月に永眠されました。ものづくりを通じて、どんなことを鼓童に伝えてくださったか、見留知弘に話を聞きました。

聞き手・構成●千田倫子、洲崎純子

ものづくりに魅かれて

西須さんは鼓童ができた頃にバチづくりでお付き合いが始まったそうですが、私が西須さんの工房に伺うようになったのは九六年くらいからでしょうか。大太鼓のバチを重い材で作りたいと思った頃からです。それまで主流だったヒノキよりも重くて硬いタモやケヤキのバチを試したくて西須さんの所に持ち込み、相談しました。私も工業高校出身なので自分の手でものを作ることにすごく興味があって、必要と思うものは手作りする、それも材料をわざわざ買うのではなくて、すでにあるもので何とか工夫して形にすることが好きです。ただ、鼓童の舞台で使う太鼓を載せる台などは、主にケヤキのため自分達の手に負えるものではありません。こんな風になりませんか？と欲しいイメージを相談し、どんな難しいリクエストも見事に形にしてくださるパートナーが西須さんでした。演奏者の身長に合わせられる大太鼓の台や、太鼓の打面の微妙な角度を調整できる台、三宅の台は強度まで工夫してくださったり、あらゆる注文に応じてくださいました。

西須さんの流儀

十年ほど前に研修生にバチ作りを教えていたスタッフの佐藤隆司さんから、私が指導を引き継ぐことになりました。その時に「ものを作るためには、作る道具からしっかり手入れできないと駄目だ」という話になり、毎年四月に西須さんに研修所に来ていただいて、鉋の刃の研ぎ方やバチ削りを教えていただくことになりました。当時、私も研ぎは未経験だったので、この時間に立会い、研修生と一緒に習いました。

西須さんの指導は、「まあとにかく研いでみろ」という感じでした。まず自分で経験しなきゃ駄目だ。力づくで研いで、逆に削れなくなることも勉強。どういう状態だと刃があるということなのか、無いことなのか。「この違いが分かるか、触ってみろ」と。それは言葉では教わることのできない、自分の感覚で覚えて行く職人さんの世界でした。西須さんはどっしり構えて研修生や私達に付き合い、多くのヒントを与えてくださいました。

西須さんから教わったもうひとつには、「効率を求めよ」ということでした。色々な注文に対応するために、鉋は粗削り用と中間用、仕上用を常備されていました。三つ準備しておくと仕事が早いと分かり、それ以来、私も二つは持つことにしています。私達はバチのような丸いものしか作らないので、「極端に言えば刃の真ん中が研げていればいいんだ、効率良くやれた方がいい」とおっしゃり、職人さんの考えというのも学びました。

西須さんは指物職人ですが、太鼓の台を作る時は、あんまり図面を引かないという

大太鼓用の台と屋台

平胴太鼓用の通称「ぞう足」

「屋台囃子」用の台

「三宅」用の台

西須さんが手がけた舞台道具の数々

か、その時によって気持ちで作っている感じがありました。なので正直に言えば、古い台とサイズが合わないこともあったんですけど…。でもそこが西須さんらしさのような気がしていました。三宅と屋台囃子用の台は型を取っていたようですが、それ以外は、たぶん毎回、頭の中で組み立てていらしたみたいです。

何か問題が出た時は、羽茂町の工房に伺って、ああでもない、こうでもないと相談しました。私達の要望に熱心に耳を傾けてくださったこと。西須さんという職人さんの懐の大きさに、本当に長い間、甘えさせていただいた気がします。

西須さんが、以前に体調を崩されて仕事ができなくなった時、他の職人さんも探してみたのですが、やっぱりここまで鼓童のことを分かって色々な工夫をしてくださる方とは出会えなかったです。私達の無理な注文を「またまたぁ～」と言いながら、何でも面白がって受け取めてくれて、それを形にしてくださる方でした。

ある時、西須さんの技術を「僕に少しずつ教えてもらえませんか」と聞いたら、「今の時代、もうこれは商売にならないからそれはできんな」と言われてしまいました。機械を使わないと作れない部分があるので、そう簡単に習得できるものではないですが、ちょっとずつお手伝いさせてもらいながら勉強していきたいと思っていたんです。こんな立派な職人さんの仕事が絶えてしまうのかと本当に残念に思います。今思えば、もっといろいろなことを聞きたかったし、習いたかったです。

大事にする心から生まれる音

西須さんがおっしゃっていたこと。

「太鼓は素晴らしい芸術品。だからその太鼓に負けない存在感のある台を作りたい」。その気概が、使い易さを兼ね備えつつも太鼓にも負けない素晴らしい太鼓台を生み出したと思います。

これは研修生も実感していることだと思いますが、自分が作ったバチは、どんなに凸凹でも愛着があって大事にしようという気持ちが生まれます。なので折れた時のショックといったらありません。同じように太鼓や台も、職人さんの気持ちが注がれたものです。でも普段、当たり前にあるものと勘違いして、感覚が麻痺してしまっていないでしょうか。鼓童に数ある太鼓は個人の物ではないし、でも誰でも叩ける。稽古場だって何時でも使える。でも、そうしたことは世間では当たり前ではありません。鼓童初期には太鼓や台を手に入れることは本当に切実だったでしょう。そこが出発点だから先輩方はものを大事にする心を持ち続けています。ものを大事にしない者は上達もしません。その心があればこそ、太鼓は音で返してくれるものと思います。

鼓童の稽古場にある太鼓や楽器、道具などあらゆる物が職人さんの使い手への思いと技術の結集です。西須さんの作品群と共に、ものを大事にする心を、次世代に伝えていきたいと思っています。

十一月二三日、鼓童村にて

西須殉治（さいす・じゅんじ）さん
（享年六二）

指物職人。同じく職人でいらっしゃるお父様の西須政稔さんと親子で、舞台道具だけでなく、鼓童村の入口にある切り株で作った表札、食堂のテーブル、お盆など、数えきれないほどたくさんの物を作っていただきました。

西須さん亡き後、政稔さんが写真の太鼓と台を、鼓童に届けてくださいました。

「殉治が十年ほど前に作った桜の胴の太鼓です。どうぞ鼓童さんで使ってください。」

天国から鼓童に贈られた太鼓。その驚きとこれまでへの感謝の気持ちを直接伝えることは叶いませんが、皆で打ち込んで、太鼓の響きでお返ししたいと思います。

研修所講師からのメッセージ

五感のすべてが笛の音に

文●山口幹文

研修所では主に篠笛の指導を担当しています。もう随分長く講師を務めていますが、肝心の指導方法が自分の中で上手く纏まらず、いまだに苦労しています。そもそも篠笛は流派や地域によって楽器や演奏方法が異なり、ピアノにおけるバイエルのような教則本もありません。私自身は演奏技術を誰に習うということもなく、舞台で経験（失敗）を重ねながらどうにかこうにか凌いできました。そのような中でここ数年は、自分で行ってきた稽古方法を整理して伝えることと、折りをみて個々に適切な手助けをすることを中心に行っています。

研修所の二年間という時間は、篠笛を習得するには決して充分であるとは言えません。そのため、先々どのような楽曲にでも対応できるよう、多くの時間を基本的な稽古に割いています。姿勢、呼吸、構え方などは、曲目を練習するような喜びもなく地味な内容ですが、笛だけでなく太鼓や踊りを習得する上でも、大いに役に立つはずです。これらの基礎的な事柄を体得しておけば、次の段階の練習に集中できるようなるでしょう。

もちろん一人前になるためには技術的な稽古だけではなく、感性を磨かなければなりません。美醜に関わらず、心の中に多彩な風景を持つべきです。そのためには音楽に限らず、五感に訴えるすべてのものに触れてください。苦手な分野のものでも身辺にある日常的なものでも、その気になって目を向ければ何かを語ってくれるはずです。そしてその対象に関する好悪の原因を、できるだけ深くはっきり探ること。これは自分の本質を理解し、ひいては個性や独創性を確立する一つの方法にもなります。

しかし、何と言っても肝心なのは学ぶ姿勢でしょう。物事を身につけるにあたって、最初の段階では個性や独創性などというものは邪魔になるだけです。上達すれば、いずれ表現者として独自の色合いが出てくるもの。まずは謙虚な心持ちで取り組み、意欲を持って吸収することです。芸事に近道はありません。たとえ合理的な練習方法を編み出したとしても、それ相応の時間がかかるものと覚悟して学んでください。そして舞台に上がることのみを目標とせず、己を高めるべく日々励んでいれば、自ずと素晴らしい演奏者になれるはずです。

研修所講師の先生方（敬称略）

佐藤利夫　［講義］佐渡研究者
福嶋徹夫　［講義］元・新潟県栽培漁業センター所長
桃井宗生　［茶道］裏千家学校茶道教授
松永政雄　［能］宝生流教授嘱託
小笠原匡　［狂言］幸清流小鼓準職分
金城光枝　［琉球舞踊］琉球舞踊家 太圭流華の会師範
岡田京子　［歌］作曲家
伊藤多喜雄　［唄］民謡歌手
赤塚五行　［俳句］新潟日報佐渡版俳句選者
熊田勝博　［講義］照明家
葛原正巳　［陶芸］
西須殉治　［木工］指物師
岩崎ちひろ　［魚のさばき方］魚屋
松田祐樹　［講義］佐渡の芸能研究者
狩野泰一　［笛］篠笛奏者
金子竜太郎　［太鼓など］和太鼓奏者

特別講師

岩手県盛岡市・黒川さんさ踊り保存会の皆様
秋田県雄勝郡羽後町・西馬音内盆踊り「北の盆」の皆様

鼓童メンバー講師

大井良明、藤本吉利、小島千絵子、藤本容子、大井キヨ子、山口幹文、齊藤栄一、見留知弘、辻勝、船橋裕一郎、石塚充、小田洋介、阿部好江、阿部研三、青木孝夫、菅野敦司、山口康子、千田倫子、石原泰彦、後藤美奈子、松浦充長、土橋達也、メラニー・テイラー

2年生

挑戦と新たな発見と

漆久保 晃佑（うるしくぼ こうすけ）

鼓童の研修所では様々なカリキュラムが組んである。能・茶道・陶芸… これらは私が研修所に入所してから初めて経験したもので、すべてが挑戦でもあった。太鼓を打ち、踊りを踊り、唄を歌い、笛を吹く、その他に必要な要素としてこれらの稽古がある。

初めてのものをやっていく中で、最初は身体に馴染まずとても苦しんだが、先生からアドバイスをいただいてそれをやってみると、変化していくのに気付き楽しくなってくる。中でも私は、能が楽しくて仕方がなかった。

能の稽古では、地謡と言われる役を稽古する。初めは言葉を何拍伸ばし、どんなメロディーで謡いをやれば良いのかと全くつかめなかったのだが、繰り返し謡いを稽古していく中で、前出来なかった部分が少し出来るようになったり、囃子方の皆さんの楽器の演奏と合わせてやってみると、演目全体の雰囲気をつかめて、また地謡とお囃子のかみ合っている感覚が気持ち良い。本物の能舞台で発表させていただいた時は、古の風景が目に浮かび上がってくるようだった。

私は、能が好きだ。そんな発見が出来たのも、研修所で生活出来たからだ。研修所に入所したいと伝えた時、両親は「自分のやりたいことを一所懸命やってきなさい」と言って私を送り出してくれたからこそ、新しい自分を発見出来たのだと思っている。

いつの日か立派な大人となり、両親へ恩返しをしたい。その日まで私の修行は終わらない。

あなたの夢が私の夢

喜田 千智（きた ちさと）

研修所の生活で、私にとっての元気の源は『母親からの手紙』。地元に居た頃は友達のようにぺちゃくちゃ喋っていて、手紙なんてもらった事がなかったので、最初の頃は母からの手紙が何だか照れくさかったのを憶えている。

私は研修所に来る前は、料理もしない、食べ終わった食器も洗わない、洗濯もしない…。家で全く！何も！しなかった私が研修所で生活している所を、母は未だに想像できないみたいだ。

二年生になり、悩む事が多くなった。その時、母からの手紙に「あなたの夢が叶うことが私の夢。どの道を選んでも、私はあなたを応援してるから。」とあった。

涙が止まらなかった。そして今まで溜まっていた沢山の不安が、涙と共に流れていった。ツラい事があると、この手紙を読み返す。

私は母のように、身体は小さいが、たくましい女性になりたい。

研修所で残り二ヶ月の生活… ある人がこう言った。「千智が知らない自分がまだまだ

左：地元・柿野浦の祭りの日。鬼役を務め、感謝と共に集落の一軒一軒を一日かけて回る。　右：佐渡の中学校を訪れての「交流公演」

眠ってるんじゃないか？　でも出すか出さないかは自分次第だと思う。」

新しい自分に出会いたい。

一歩を踏み出そう。

前へ進もう……。

日本の佐渡の景色

藤崎 大助（ふじさき だいすけ）

私が研修所に来た目的は、日本人の文化、生活や精神性に興味を持った事がきっかけでした。また、街の中で生活していた私は、人や物が溢れている環境に息苦しさも感じていましたし、佐渡という土地柄にも強く惹かれました。それから、早一年と十ヶ月が経とうとしています。長くいればいるだけ佐渡の土地、人々の生活がよく見えてきました。そして、これが日本の姿なのだと、時折感動する事があります。

真っ赤な日の出を望みながらのランニング
田んぼが青々と茂り、風波打つ稲
海辺で太鼓を打つ裸の研修生
祭りで活気立った神社の石畳
夜空からこぼれ落ちそうなほどの星
干し柿が祭りの山車の
提灯のようにぶら下がった窓辺
実った稲穂に群がるすずめ
四季によって色を変える山々
日々によって表情が変わる海

これらの景色は生活や労働の中から見えてきた「気付き」でした。それと同時に日本人の精神性も少し感じる事ができた様に思います。この様な事が日本各地、その土地土地で少しずつ違った形であるのだろうと想像しています。芸能や祭りは、それら日本の生活・文化・精神が集約されているものの様に見えてきました。

私が研修所で見てきた景色や感覚は、日本文化の一部にすぎないでしょう。もっと広い日本、深い日本魂を知りたいという想いに駆られています。日本人である自分自身をより深く理解する事で何か、自分の中に見出せるものがあるような気がして…。

佐渡の魚は美味しいよ

三浦 康暉（みうら こうき）

僕は料理が好きだ。研修所で魚を捌くことに関しては、所長のガンさんの次に上手いん

左：齊藤栄一の「三宅」の稽古　右：手鎌で稲刈り、巡り来る二回目の秋。

お客様に届け!!　仲間を信じて『屋台囃子』の演奏。この日のために今までの稽古と生活があった。　／「佐渡特別公演」にて（写真：岡本隆史）

じゃないかな(笑)。一時期は真剣に料理人になることも考えたくらい、それくらい料理が好きだ。

料理を作ることは楽しい。でも一番はみんなの喜ぶ顔が見られるからだと思う。研修生は正直で、美味しければテーブルはきれいになるし、不味ければ何も言わずに残る。だからこそ食事当番の時は気合いを入れて前日から仕込んでしまっている自分がいる。だってみんなの喜ぶ顔が見たいから。僕が太鼓を打つのも一緒、お客さんの喜ぶ顔が見たいから…ただそれだけ。

太鼓打ちも料理人もやり方が違うだけで、やりたいことは一緒なんじゃないかな。だからこそ太鼓も料理も妥協はできない。料理を出した後も、もっと良い味付け、盛り付けにできたのではないか？　と自分に問う。太鼓も一緒だ。

今年、僕たちは『佐渡特別公演』という舞台に出演させて頂いた。その時も演奏が終わった後、「まだいけたんじゃないか、もっと出し尽くせたのではないか?」と自分に問い、反省と後悔の毎日だった。

もっといい太鼓が打てるようになりたいから。太鼓でも料理でも全てのことに関して妥協せずやっていきたいな。

そして、今一番喜ぶ顔が見たいのは親だと思う。もう少し待っていてください。

ぜいたく

真崎　滉大（まざき こうだい）

研修所の生活はとってもぜいたくだ。
なんでかって?
山や海、満天の星空、豊かな自然に恵まれ、
好きな太鼓をひたすら打ち続け、
鬼太鼓や能などの芸能を学び、
時には保育園児に寸劇太鼓レンジャーを、
時には泥まみれになりながら田んぼ作業を、
時には全力でふざけてバカな事を、
いつも真剣に…
そんな素直に生活出来る環境は他にあるだろうか。
まわりを気にせず歌いたい時に歌って、
叫びたい時に叫んで。
笑って、怒って、困って、泣いて、笑って。
こんなにも感情があらわになって。
本当にぜいたくだ。

自分達で脚本から手がける、保育園児向け音楽劇「太鼓レンジャー」

しかし、生活しているとその事を忘れてしまう。

先輩との関係が上手くいかず、言いたいけど言えない気持ちが辛く、逃げ出したいと思ったり…色々な感情が混ざり合って、自分が分からなくなってしまったり。

でも一歩下がって見ればほら、周りの人は口を揃えて言うじゃないか。「なんて羨ましい生活」と。

一年と十ヶ月しかないこの時間を充実しないでどうする。

残り二ヶ月。このぜいたくな時間をおもいっきり楽しんでいこう。

好きなこと

福島 雅仁（ふくしま まさと）

僕の好きなことは、漫画を読むこと、映画を観ること、友達とファミレスで何時間も無駄な時間を過ごすことやプールに行ったり、ゲームをしたりすること、そして日曜大工。

鼓童の研修所に来て、残念ながら僕の好きなことをやっている時間はほとんど無くなってしまった。でも、そんな中で何とかやっているのが日曜大工だ。たまに休日を使って、太鼓の台車や研修所の楽器関係の物を作っている。だけど正直言って、物を作っている時は楽しくていいが、時計を見るとあっという間に大切な休日が終わってしまっている。少し悲しくなる。でも好きなことをやると気持ちがスッキリする。

僕が研修所に来た理由も太鼓が好きだったから。和太鼓を始めたのは高校に進学して何か思い出を残したいと思い、部活に入ろうとしたのがきっかけだった。あまり激しい運動がしたくなかったから和太鼓部に入部した。でもそれは間違っていた。和太鼓は想像していた以上に激しかった。小学生の頃から辛いのが嫌で、サッカーやバスケットをやっても二ヶ月くらいでやめてしまった。しかし和太鼓だけはどんなに辛くてもやめたいと思わなかった。初めて自分の好きなことを見つけることができて、本当に嬉しくて楽しくて、テスト期間も引退しても関係なく部室に行って太鼓を打っていた。そして高校を卒業してからも和太鼓を続けたくて、鼓童の研修所に来た。

やっぱり研修所の生活は厳しい。でもここに来て頑張ることや挑戦することの楽しさを知った。ここでの生活も残りわずか、今思うと、こんなに自分の好きなことを思いっきりできる研修所が大好きだ。

初志貫徹

野添 悠子（のぞえ ゆうこ）

「何も心配しないで夢を追いかけなさい。」両親はそう言って笑顔で私を見送ってくれました。カナダを出た時、人生最大の岐路に立っているかと思いました。両親の優しさを心に焼き付けて、希望と不安を抱いて、私が子供の頃から知りたいと思っていた日本に突入しました。

研修所で教わる太鼓、唄、踊りや茶道などを通して、日本の心に触れることができたかなと思います。その上、毎日の暮らしの、ごく普通な行いからも色々と学びました。あいさつ、所作、言葉遣い、トレーニングの時に見る朝日、正座、正座をした後に立てない感覚、浴衣や着物とその着付け、食べ物（特にお菓子）を巡ってのじゃんけん…。ごく日常に見える日本がとても好きです。そのような日本の良さが分かるようになるまで色々ありました。手足が麻痺するまで太鼓を叩きました。立てなくなるまで踊りました。腹が痛くなるまで歌いました。そして何より、泣きました。寂しくて泣きました。笑いすぎて泣きました。日々の美しさに感動して泣きました。この夢

雄大な自然の中での稽古。佐渡北端の景勝地「大野亀」にて

地元の方々が 13 晩つけて下さる柿野浦の祭りの稽古。鬼役を競い合う

のような生活が、もうすぐ終わると気付いて泣きました。毎日好きなことをボロボロになるまで追いかけられるのは本当に幸せです。

今度こそ、人生最大の岐路に立っているのでしょうか。あと二ヶ月先、どこで何をしているのかも分からないです。また不安とワクワクと、新しい冒険が始まろうとする今を、思いっきり大切にします。

自分の心に正直に!!

地代 純（じだい じゅん）

笑いたければ笑えばいいし、泣きたくなったら泣けばいい。そんな風に一生自分の心に正直に生きていきたいと僕は思う。何ものにも囚われない『童』の心。この研修所に入って一年半強、少しは自分の中に芽生えてきたのかな…?

本土を離れ、この研修所で生活をして、僕の中の世界は大きく広がった。太鼓を叩き、踊りを踊り、唄をうたい。稲を育て畑を耕し。エプロンをして料理を作り。茶道でおもてなしを学び、奥深さを知り。柿野浦、岩首の皆さんと酒を飲み交わし鬼太鼓を学び、日本の祭りを知り。時には、自分の嫌なところばかりが表へ出てきてどうしようもない感情に駆られ、悩みイラつき、ぶつかり落ち込む。そして気づき、謝り、一歩前へ進んでいく。毎朝トレーニングの時に見る真っ赤な太陽と、海の向こうの本土を眺めて故郷を想う。

高校を卒業し、もし普通に大学に行っていたら、こんな刺激的な生活をすることはなかっただろうし、こんなにも自分を見つめることもなかったと思う。本当に研修所に来ることができて良かった。改めて…。

そして、この研修所で芽生えたある想いが一つある。それは、「世界を見てみたい」ということ。本当に僕は自分でも思うほど、突拍子もないことを突然思い立ってしまう。でも、今はそのことが一番の願いであり、心の声なのだと思う。これからの人生どうなるのだろうか。それは僕にも分からない。でも、どんな道を行くのも決めるのは自分だと思う。自分の心に正直に生きていきたい。そうすればきっといつまでも『童』でいられる。

P.S.「ろくに連絡も取らずにすみません。また迷惑を掛け心配をさせてしまうかもしれませんが、どうか息子を信じ見守っていて下さい。」

研修生としては初! ベテランメンバーに導かれて
公演の舞台を務めた「佐渡特別公演」。宿根木公会堂にて

1年生

香川力哉（かがわ りきや）

1992年4月24日　千葉県習志野市

1. ディズニーランドのスタッフ
2. 特技＝プーさんの声マネ
   苦手＝瞬時に何かを記憶すること
3. 会計係、唄係、「千里馬」リーダー
4. 自分の固定観念を打ち崩す程のたくさんの衝撃的な出会い
5. 研修所に来て、自分の弱さを知り、そして何より家族をはじめ、友達、子供の頃からお世話になっている方や応援してくれる方々の大切さを改めて知りました。色んな葛藤にまみれている毎日ですが、感謝の気持ちを忘れずに一歩一歩前に進んでいきたいです。不器用な僕ですが、どうぞよろしくお願いします!

渡辺健吾（わたなべ けんご）

1993年9月25日　新潟県新潟市

1. 新潟の郷土芸能「万代太鼓」出身。他に水泳・空手・剣道。高校ではボクシングもやっていて、家族、友達と楽しく暮らしていた。
2. 特技＝走ること、バク転、シャドーボクシング
   苦手＝話すこと、暗記、アドリブ、リズムをとること
3. 食料品や生活用品の管理人、誇りを持ってやっています。
4. 佐渡というか、研修所に来て、もう一つの家族がここにあることが、僕にとって宝物です。
5. 僕はこの研修所生活が楽しいです。でも、時には辛くて嫌になることだってあるけど、家族や友達、万代太鼓の方々に応援していただいていることを思い返したり、先輩や同期と盛り上げ合ったりしながら毎日過ごしています。
   僕は太鼓が大好きです!!

名前／生年月日／出身地
1. 研修所に来る前、何をしていたか
2. 特技と苦手
3. 研修所における自分（の役割、役どころ）
4. 佐渡で見つけた宝物
5. 自己紹介

稲田亮輔（いなだ りょうすけ）

1988年3月14日　今は無き、大阪府南河内郡美原町（現在は大阪府堺市美原区）

1. 保育園の先生だったり、服屋さんだったり。
2. 特技＝めっちゃキレイに服を20センチ幅にたためます
   苦手＝1回で話を聞き取ること
3. 田んぼ係!!　お祭り大好き、祭りリーダー!!
4. 研修所での生活。夏に一人で田んぼに行く時間。鬼太鼓や鬼太鼓の師匠の方々との出会い。
5. 高校生の時に太鼓をしていました。ここに来る一年前ぐらいからまた太鼓を始め、その魅力に取り付かれてこの研修所へやってきました。生活は色々と大変な事が多くありますが、他では出来ない様な経験もこの研修所では出来るので、すごく充実した時間です。
   僕は佐渡に来て、佐渡の祭りが大好きになりました、“祭りに命を懸けている”というぐらい熱い人、家々で「ゆっくりしていき」と声を掛けてくれる温かい人…、佐渡の祭りは本当に素敵で佐渡の人は素晴らしい人達ばかりです。僕も佐渡で、この研修所で自分を磨き、佐渡の人達の様に素晴らしい人間になりたいと思います。

鶴見龍馬（つるみ りょうま）

1993年9月26日　愛知県東海市

1. 部活大好きな高校生!
2. 特技＝人の髪をいじる
   苦手＝自分の髪をいじる（失敗して2回坊主にしました…）
3. 茶道リーダー／美容師
4. 山の幸、海の幸　おいしい食べ物!!
5. 研修所に来るまで、僕は佐渡を全く知らなくて、とりあえず自然が多くて鼓童の本拠地がある所…そんなイメージしかありませんでした。しかし実際、佐渡にわたり生活をしてみると、佐渡のいい所がいっぱい見つかりました。
   おいしい食べ物がいっぱいあること、芸能がいっぱいあること、お祭りがいっぱいあること、優しい人が多くて、人と人の関わりが活発なこと、美しい風景がいっぱいあることなど、とにかく佐渡にはいい所が数えきれないくらいあります。僕はそんな佐渡が大好きです。これからもまだ知らない佐渡のいい所を探しながら研修所生活を頑張っていきたいと思います。

神谷俊一郎（かみや しゅんいちろう）

1990年12月18日　愛知県安城市　O型　いて座

1. 車の部品工場で働きながら、空手とか色々やってました。
2. 特技＝武道、ドラム、身体が柔らかい、サプライズ
   苦手＝乾燥（唇がカサカサになる）
3. 後方支援!!
4. 「自然な“音”」＝農作業中に耳栓をしていて1時間後に外した時のあの音、頭の中で大合奏。
   「両親の偉大さ」＝一生勝てないと、改めて思いました。
5. 研修所に来てから改めて両親の偉大さに気付き、毎晩感謝をしながら寝ています。
   これといった特技がないのですが、まだ出会っていないリズム、メロディーを探し続けて日々生活中!　それとOFFの日は空を見るのが好きでずーっと見ています。
   21歳には見えないとよく言われる僕ですが、よろしくお願いします。

福田勇太（ふくだ ゆうた）

1987年8月24日　東京都葛飾区

1. 絵画の事について、海外を遊学していた大学生
2. 特技＝サッカー　／　苦手＝寒い場所
3. たまに、人生についての深い話ができる人
4. 農民芸術としての『能』が息づいていること。宝物は佐渡の人そのもの。不易流行が佐渡にはあります。
5. 研修所に来てから太鼓を始めました。絵の勉強をしたり、哲学、禅の教え、西洋文学なども学んでいます。不条理というテーマをとても勉強しています。実存主義ということも。
   すべての事はつながっていて、何をするにも教養は大事だなと感じます。ここ研修所では、しっかりと体得していけるようにと心掛けています。
   時間はかかりそうですが、必ず、自分をサポートしてくださる周りの方々に恩返しができたらと思います。自分の事をここへ導いてくれた方々、本当に心からありがとうございます。

髙倉龍和（たかくら りゅうわ）

1993年6月1日　東京都町田市

1. 太鼓バカな高校生、鼓童ファン
2. 特技＝早寝、整理整頓、打楽器の即興
   苦手＝眠気、走り、キレイな字
3. 洗濯大好き洗濯おじさん／仲間割れは「まあまあ」と言う役
4. 稽古後のただの水、キレイすぎる星空、晴れの日だけ見られる本土が顔を出す景色、安くて大きくて漬けでおいしい魚たち。
5. 太鼓が好きで好きで、とにかく好きで、鼓童の太鼓打ちへの強い憧れをもって研修所に来ました。入所してからは太鼓以外の学ぶ事のあまりの多さに驚きながら、本当に様々な経験をさせていただいています。もういくつ初めての経験をしたか分かりません。そしてそれらを通して、太鼓だけで太鼓は上手くなれないんだと実感しています。広く深く、欲張って学べるだけ学びます!!

岩井直弥（いわい なおや）

1991年6月9日　神奈川県川崎市

1. アルバイトを転々と…。一番長く働いていたのは、飛行機の座席の前にあるタッチパネルのパネルの精密検査の仕事。
2. 特技＝何となく行動して、周りの流れに何となく乗ること
   苦手＝リーダーシップ
3. 傍観者
4. 男だらけの31期
5. 僕は、小学生の頃に初めて鼓童の舞台を観て格好良いと思い、地元の和太鼓のチームの練習を見に行った時、太鼓の生の音が身体全身に響いてきて、その何とも言えない感覚が好きになり、和太鼓を始めました。
   それから、鼓童のメンバーになるのが夢になり、今現在、研修生。ここまで来させてくれた周りの人達、そして何より沢山迷惑をかけている家族。本当に感謝しています。ありがとう。この恩返しをする為にも絶対にメンバーになります!　頑張れ自分。

（11 月 30 日現在）

3/16（土） ワシントン DC
DAR Constitution Hall
19:30 開場 20:00 開演

3/18（月）
ウェストバージニア州モーガンタウン
West Virginia University Creative Arts Center　18:45 開場 19:30 開演

3/20（水）
ペンシルバニア州イーストン
Lafayette College - Williams Center for the Arts　19:30 開場 20:00 開演

3/22（金）
ニュージャージー州プリンストン
McCarter Theatre
19:30 開場 20:00 開演

3/24（日）
ニュージャージー州ニューアーク
Prudential Hall - New Jersey Performing Arts Center
15:30 開場 16:00 開演

3/25（月）
ペンシルバニア州フィラデルフィア
Kimmel Center for the Performing Arts - Verizon Hall　19:30 開演

3/27（水） コネチカット州ストアーズ
Jorgensen Center for the Performing Arts - University of Connecticut
19:30 開演

3/29（金）
ニューヨーク州スケネクタディ
Proctor's Theatre
19:30 開場 20:00 開演

ワン・アース・ツアー ～伝説 5 ～ 6 月

5/8（水） 茨城県取手市
取手市民会館（新年号で先行予約）
18:00 開場 18:30 開演
5,000 円 指
未就学児の入場は不可
2/26（火）発売
問）取手市民会館 Tel. 0297-73-3251

5/10（金） 静岡県三島市 先
三島市民文化会館
18:00 開場 18:30 開演
一般 4,800 円高校生以下 3,000 円 指
未就学児の入場は不可
2/16（土）発売
問）イーストン Tel. 055-931-8999
三島市民文化会館 Tel. 055-976-4455

5/12（日）愛知県豊川市 先
豊川市文化会館大ホール
17:30 開場 18:00 開演
S 席 5,000 円 A 席 4,500 円
当日は 500 円増し 指
5 才児（年長）未満の入場は不可
2/4（月）10:00 ～発売
問）恵の実後援会 Tel. 0533-65-9801

5/16（木） 長野県松本市 先
まつもと市民芸術館・主ホール
18:30 開場 19:00 開演
S 席 5,000 円 A 席 4,500 円
B 席 3,000 円 C 席 2,000 円 指
未就学児の入場は不可 託
1/23（水）発売
問）テス・カルチャーセンター
Tel. 026-223-8875

5/18（土） 京都市
（新年号で先行予約）
京都芸術劇場 春秋座
2/21（木）発売
問）京都芸術劇場チケットセンター
Tel. 075-791-8240

5/19（日）
大阪府高槻市（新年号で先行予約）
高槻現代劇場大ホール
2/28（木）発売
問）高槻現代劇場　Tel. 072-671-9999

5/23（木） 富山県富山市
オーバード・ホール（富山市芸術文化ホール）
2 月中旬発売予定
問）アスネットカウンター Tel. 076-445-5511
12 月のワン・アース・ツアー公演プログラムに記載の富山公演の日程が違っておりました。お詫びして訂正いたします。

5/25（土）
新潟県新発田市（新年号で先行予約）
新発田市民文化会館
3/1（金）発売予定
問）鼓童 in 新発田公演実行委員会
Tel. 090-5434-3185

5/26（日）
新潟県南魚沼市（新年号で先行予約）
南魚沼市民会館 大ホール
3/3（日）発売
問）（公財）南魚沼市文化スポーツ振興公社 Tel. 025-773-5500

5/28（火）
神奈川県横須賀市（新年号で先行予約）
よこすか芸術劇場
2/23（土）発売
問）横須賀芸術劇場 電話予約センター
Tel. 046-823-9999

5/29（水） 神奈川県相模原市 先
グリーンホール相模大野　大ホール
18:30 開場 19:00 開演
4,500 円 学生（25 歳以下）3,000 円 指
未就学児の入場は不可
1/25（金）10:00 ～発売
問）チケット Move Tel. 042-742-9999

6/2（日） 埼玉県さいたま市 先
大宮ソニックシティ　大ホール
17:00 開場 17:30 開演
5,500 円 指
未就学児の入場は不可
2 月中旬発売予定
問）東京音協 Tel. 03-5774-3030

6/6（木）-9（日） 東京都台東区 先
浅草公会堂
※ 20 ページもご覧ください。
13:30 開場 14:00 開演
S 席 7,000 円 A 席 5,000 円 指
未就学児の入場は不可
チケット発売 2/9（土）発売予定
問）鼓童チケットサービス
Tel.0259-86-2330
tvk チケットカウンター　Tel. 0570-00-3117

坂東玉三郎◇鼓童「アマテラス」

7/4（木）-28（日）
東京都港区（新年号で先行予約）
赤坂 ACT シアター

9/5（木）-28（土） 福岡市
博多座

10/5（土）-27（日） 京都市
南座

鼓童の会
先 チケット先行予約のご案内

会員の皆様には申込書を同封しております。受付期間は公演地により異なりますので、ご確認ください。

KODŌ 公演情報

託…託児あり　先…鼓童の会会員先行予約あり　指…全席指定　自…全席自由　（11 月 30 日現在）

ワン・アース・ツアー ～伝説 12 月

12/13（木）広島県広島市
広島文化学園 HBG ホール（広島市文化交流会館）※名称変更になりました。
広島バス 24 番吉島行（吉島病院）8 つ目「加古町」下車／広島電鉄「市役所前」下車、徒歩 12 分
18:00 開場 18:30 開演
S 席 5,500 円（1 階全席、2 階 4 列まで）
A 席 5,000 円（2 階 5 列以降）指
未就学児の入場は不可
チケット発売中
問）広島テレビイベントインフォメーションセンター Tel. 082-249-1218

12/15（土）兵庫県尼崎市
あましんアルカイックホール
阪神電車：梅田から 7 分、大阪難波から 20 分、三宮から 22 分、「阪神尼崎」駅下車、立体遊歩道で徒歩約 5 分（国道 2 号線玉江橋交差点すぐ）
17:00 開場 17:30 開演
前 S 席 6,000 円（1 階）
A 席 5,500 円（2 階）学生 4,000 円
当 S 席 6,500 円 A 席 6,000 円 指
未就学児の入場は不可
チケット発売中
問）ページ・ワン Tel. 06-6362-8122

12/18（火）神奈川県横浜市
神奈川県民ホール 大ホール
みなとみらい線「日本大通」駅より徒歩約 6 分。JR 根岸線・市営地下鉄「関内」駅より徒歩約 15 分
18:00 開場 18:30 開演
S 席 6,000 円（1、2 階）
A 席 4,000 円（3 階）指
未就学児の入場は不可
チケット発売中
問）tvk チケットカウンター
Tel. 0570-00-3117

12/22（土）-24（月・振休）
東京都文京区
文京シビックホール 大ホール
東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園」駅、都営地下鉄三田線・大江戸線「春日」駅より直結
14:30 開場 15:00 開演
S 席 7,000 円（1 階全席、2 階 13 列まで）
A 席 5,000 円（2 階 14 列以降）指
未就学児の入場は不可
12 月 22 日は完売、23 日は残席僅かです。
問）tvk チケットカウンター
Tel. 0570-00-3117

山口幹文 一管風月コンサート

出演：山口幹文（真笛）、佐藤世子（チェンバロ）

12/15（土）新潟市
砂丘館 蔵 1 階（新潟市中央区西大畑町 5218-1）
第一回 13:00 開場 13:30 開演
第二回 16:00 開場 16:30 開演
3,500 円　定員各回 35 名

【山口幹文 篠笛ワークショップ】
12 月 15 日（土）砂丘館 蔵 2 階
10:00 ～ 11:30（9:30 開場）
5,000 円（篠笛レンタル料含む）定員 15 名

コンサート、ワークショップ申込・問：
砂丘館 Tel.&Fax. 025-222-2676、
Email：sakyukan@bz03.plala.or.jp
※ファクスか Email で申し込む場合は、電話番号と申込人数を必ずお書きください。
問：佐渡太鼓体験交流館（たたこう館）
Tel. 0259-86-2320、Fax. 0259-86-2385、
Email：info@sadotaiken.jp

12/16（日）新潟県燕市
大山治郎コレクション美術館（燕市井土巻 2 丁目　ビストロ &Café 六朝館隣）
15:00 開場 15:30 開演　3,500 円
チケット申込・問：ビストロ &Café 六朝館
Tel. 0256-66-3388
佐渡太鼓体験交流館（たたこう館）
Tel. 0259-86-2320、Fax. 0259-86-2385、
Email：info@sadotaiken.jp

2013年

ワン・アース・ツアー ～伝説 2～3 月　アメリカ

チケット発売中。
鼓童サイトの公演スケジュールのページから各公演会場の情報サイトにリンクしています。どうぞご利用ください。

2/1（金）ネバダ州ラスヴェガス
The Smith Center for the Performing Arts　19:00 開場 19:30 開演

2/3（日）カリフォルニア州バークレー
UC Berkeley - Zellerbach Hall
18:30 開場 19:30 開演

2/5（火）
カリフォルニア州ロスアンゼルス
Walt Disney Concert Hall
19:30 開場 20:00 開演

2/7（木）カリフォルニア州デイヴィス
UC Davis - Mondavi Center - Jackson Hall
19:30 開場 20:00 開演

2/9（土）,10（日）
ワシントン州シアトル
University of Washington - Meany Hall
9 日　19:00 開場 20:00 開演
10 日　13:00 開場 14:00 開演

2/13（水）イリノイ州シカゴ
Symphony Center Orchestra Hall
18:45 開場 19:30 開演

2/15（金）ミシガン州アナーバー
University of Michigan - Hill Auditorium
19:30 開場 20:00 開演

2/17（日）ミネソタ州ミネアポリス
The Auditorium at the Minneapolis Convention Center
18:30 開場 19:00 開演

2/19（火）アイオワ州デモインズ
Civic Center of Greater Des Moines
19:30 開演

2/23（土）
サウスカロライナ州グリーンヴィル
The Peace Center
19:30 開場 20:00 開演

2/25（月）
ノースカロライナ州チャペルヒル
Memorial Hall　19:00 開場 19:30 開演

2/28（木）フロリダ州ゲインズヴィル
University of Florida - Phillips Center
19:00 開場 19:30 開演

3/2（土）フロリダ州クリアウォーター
Ruth Eckerd Hall - The Richard B. Baumgardner Center for the Performing Arts　18:00 開場 19:00 開演

3/9（土）フロリダ州マイアミ
Knight Concert Hall at the Adrienne Arsht Center for the Performing Arts of Miami-Dade County
19:30 開場 20:30 開演

3/11（月）フロリダ州ネイプルズ
Philharmonic Center for the Arts
20:00 開演

3/14（木）オハイオ州コロンバス
Palace Theatre　20:00 開演

鼓童からのお知らせ

鼓童カレンダー・ふわりタオル

オンラインストアにて好評発売中。
12月のツアー会場でもお求めになれます。

鼓童カレンダー 2013

「KODO」のロゴと鼓童衣装のうろこ模様をあしらったふわりタオル

年末年始の「鼓童オンラインストア」営業のご案内

12月26日～ 2013年1月10日の間、「商品の発送」「配達希望日指定」「お問い合わせに対する対応」などができません。ご不便をお掛けいたしますが、何卒ご了承ください。

鼓童グッズ

■鼓童カレンダー2013
鼓童カレンダー　モノクロ16ページ
価格：1,200円　鼓童の会会員価格：1,000円

■鼓童『ふわり』タオル
色：4種「紺」「茶」「墨」「生成り」
綿100%、30×150cm
価格：各2,500円　鼓童の会会員価格：各2,250円
※濡れた状態で放置しますと、色落ち・色移りのおそれがあります。お洗濯は手洗いか、ネットのご使用をお勧めします。

お求めは便利な「鼓童オンラインストア」で。
http://kodo.or.jp/store/

鼓童グッズのお問い合わせはこちらまで
Tel. 0259-86-3630（販売部）

鼓童文化財団からのお知らせ

「ヴォイスサークル・スペシャル」受付中
藤本容子の声のワークショップ「ヴォイスサークル」のスペシャル版。間もなく開催です。

「ヴォイスサークル・スペシャル」

日時：12月22日(土) 10:00～12:00
場所：東京・文京シビックホール 多目的ホール(地下1階)
参加費：一般3,500円
(鼓童の会会員 3,000円)
問：鼓童文化財団　担当 山口康子
Tel. 0259-81-4100（月～金 9:30～17:00）
Email：zaidan@kodo.or.jp（「ヴォイスサークル・スペシャル参加申込み」としてください。）

「佐渡塾(仮称)」
日常を離れ自分と向き合う、2泊3日の佐渡合宿プログラム「佐渡塾」を計画中です。
かつての人々の暮らしが今もなお息づいている島、佐渡。忙しい日常生活や仕事から少し離れ、海を渡り、佐渡の自然や地元の方々との触れ合いに身を置いてみる…。
日程は3月1日（金）～3日（日）の予定です。詳細は新年号でお知らせいたします。

第2回小木ツーリズムシンポジウム
今年、東京で開催した「小木ツーリズムシンポジウム」の第2回を3月中旬に行います。
日程は3月10日（日）、会場は前回と同じ表参道・新潟館ネスパスで行なう予定です。詳細は新年号でお知らせいたします。

KODO INFORMATION

正月のテレビ出演情報

鼓童がお正月のテレビ番組に出演します。放映予定は左記の通りです。どうぞお楽しみに。

NHK Eテレ「響宴！新春の伝統芸能」
正月にふさわしい古典芸能や邦楽演奏、舞踊などを紹介する番組で、鼓童が演奏のトップバッターをつとめることになりました。
日時：1月1日(火祝)午前10時～12時
出演：坂東三津五郎(司会)、山勢松韻(箏)、米川文子(箏)、玉城節子(琉球舞踊)、友吉鶴心(琵琶)、鼓童(見留知弘、辻勝、石塚充、吉井盛悟、安藤明子、住吉佑太、花岡哲海)ほか

NST 新潟総合テレビ「Dreaming 今 夢に向かって」
新潟県で夢に向かってチャレンジする様々な分野の若者達が紹介されます。鼓童からは、最年少メンバーを代表して、住吉佑太が出演します。
日時：1月1日(火祝)午前11時30分～12時50分
司会：川合俊一(元バレーボール日本代表)

BSN 新潟放送「ふるさとニッポン～島が燃えた夏・鼓童と佐渡の人々」
開局60周年を迎えた同局が過去に放送した番組の中から賞を受賞した作品が放送されます。この番組は1993年に放送された、鼓童と佐渡の人々との交流が描かれたドキュメンタリーです。
日時：1月14日(月祝)午前0時50分～1時20分

ソロ・小編成公演

鼓童が熊本県宇土市にお伺いします

○鼓童 藤本吉利　太鼓合宿 inうと

藤本吉利が、ケヤキの大太鼓が26基現存する熊本県宇土市で太鼓合宿を行います。技術の習得ではなく、藤本の人柄から「太鼓人生」を感じていただく2泊3日の合宿ワークショップです。

○鼓童宇土特別公演〜うとの宝物　知られざる宇土大太鼓の魅力〜

江戸から大正にかけて製造された宇土大太鼓の持つ伝統の響きと至高の技とが織りなす宇土市だけの特別公演。今福優氏、宇土天響太鼓が出演されます。鼓童は特別編成でお伺いします。

第5回 日本縦断和太鼓コンサート〜北海道編〜

全国各地から太鼓奏者、太鼓グループが集まる「日本縦断和太鼓コンサート」に、今回は鼓童から藤本吉利と藤本容子が出演します。二人の息の合った「重ね木遣り」が聞きどころです。

出演：金澤綾花（北海道登別）、愛宕陣太鼓連響『風組』（福島県）、長谷川義（大分県）、長谷川準（大分県）、浅野祥（宮城県）、倉敷天領太鼓（岡山県）、天領わらべ太鼓（岡山県）

響 sato-oto 太鼓フェスティバル in SEIRO vol.6 ゲスト出演

新潟県聖籠町を本拠地に活動する聖籠太鼓「響 sato-oto」。発足時より交流をもち、第1回目よりゲストとして参加してきた鼓童。今年は船橋裕一郎、小田陽介が参加します。お楽しみに！

文京シビックに鼓童がやってくる！

○ぶんきょう交流公演

観て、聴いて、叩いて楽しむ鼓童の〝交流公演〟が今年も小ホールに帰ってきます！　いつもよりグッと近くで鼓童を体感しよう！

公演の前に「**親子で楽しむ太鼓ワークショップ**」を開催します。文京区に在住、在勤、在学で、「ぶんきょう交流公演」のチケットを購入された親子（5歳以上中学生以下のお子さんとその保護者）が対象です。太鼓をたたく楽しさを体験しましょう。

2013年2月〜3月のソロ・小編成公演

鼓童 藤本吉利　太鼓合宿 in うと
日時:2013年2月28日（木）〜3月2日（土）　場所:宇土市民会館
受付:12月1日（土）〜　料金:30,000円（宿泊費、バチ代込み）
問:宇土市民会館「鼓童宇土特別公演」係
〒869-0433 熊本県宇土市新小路町123
Tel. 0964-22-0188　E-mail: utobunka@nifty.com

鼓童宇土特別公演〜うとの宝物　知られざる宇土大太鼓の魅力〜
出演:今福 優、鼓童特別編成ほか
日時:2013年3月2日（土）18:30開演　場所:宇土市市民会館
料金:3,000円　問:上記の太鼓合宿と同じ

第5回 日本縦断和太鼓コンサート 〜北海道編〜 天地人の大太鼓
日時:2013年3月10日（日）15:00開場、16:00開演
会場:倉敷市民会館 大ホール（倉敷市本町17番1号）
前売:一般2,000円、大学生以下1,000円 当日:各500円増し
全席指定　※学生の方はご入場の際学生証をご用意ください。
予約:アルスくらしきチケットセンター Tel. 086-434-0010
（平日9:00 〜 17:00 土日祝は休業）インターネット予約 http://arsk.jp/
第5回日本縦断和太鼓コンサート事務局 事務局代表 小山寛
（小山珈琲店／月曜休）Tel. 086-425-1572

響 sato-oto 太鼓フェスティバル in SEIRO vol.6
日時:3月17日（日）13:00開場、13:30開演
会場:聖籠町文化会館（新潟県北蒲原郡）
出演:聖籠太鼓「響 sato-oto」　ゲスト:鼓童（船橋裕一郎、小田洋介）
前売:1,000円 当日:1,200円 全席自由 未就学児は入場できません
12月20日（木）チケット発売。メールでも受付します。
問:聖籠町町民会館 Tel. 0254-27-2121
Email: satooto@van-rai.net　http://www.van-rai.net/satooto/

ぶんきょう交流公演
日時:2013年3月30日（土）14:30開場、15:00開演
会場:文京シビックホール 小ホール
料金:2,000円（全席指定・税込）　※5歳から入場可
発売:12月13日（木）10:00〜
問:シビックチケット Tel. 03-5803-1111
（10:00 〜 19:00 土・日・祝休日も受付、12/28（金）〜1/4（金）は休業）

ぶんきょう交流公演同時開催　親子で楽しむ太鼓ワークショップ
日時:2013年3月30日（土）13:15〜14:00
料金:無料　定員:30名（対象は右記参照）
問:（公財）文京アカデミー ホール事業係（http://bunkyocivichall.jp/）
Tel. 03-5803-1103（平日9:00〜17:00）

鼓童の会　会員限定プレゼント

「研修所米」（研修所で収穫したお米）2キロを5名様にプレゼントします。研修生が春から心を込めて育てた無農薬・有機栽培のお米をご賞味ください。ご応募お待ちしています。

鼓童の会会員限定 プレゼント

申込方法：会員番号、お名前、ご住所、電話番号、研修生や鼓童メンバーへのメッセージをお書き添えの上、Eメール、ファクス、お葉書などでお申し込みください。12月25日（火）締切。新年1月の発送をもって当選の発表にかえさせていただきます。
宛先：〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田148-1 鼓童の会 プレゼント係
Fax. 0259-86-3631 Email: friends@kodo.or.jp

鼓童事務局年末年始のお休み

鼓童事務局は、12月26日（水）から1月9日（水）までお休みさせていただきます。また、たたこう館は12月27日（木）から1月7日（月）まで休館させていただきます。皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承くださいますようお願いいたします。次号の月刊「鼓童」は2月1日発行予定です。

今月の付録

◎春の「ワン・アース・ツアー」先行予約
◎アルティソレラ公演チラシ（東京・関東のみ）

お客様よりお預かりする個人情報は、それぞれの目的のために利用されます。個人情報の取扱いに関する詳細は、鼓童ウェブサイト内のプライバシーポリシーをご覧ください。

KODO vol.321

鼓童　2012年12月10日発行(毎月１回発行)　発行…鼓童　〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田148-1
電話 0259-86-3630 Fax. 0259-86-3631 Email: heartbeat@kodo.or.jp http://www.kodo.or.jp
発行責任者…青木孝夫　編集…洲崎純子、藤本容子、後藤美奈子、千田倫子、齋藤美和、上之山博文、松田菜瑠美、上田恵里花、ウェルズ智恵子、田中文太郎　校正…山口康子
郵便振替…00680-2-13115 鼓童の会 定価100円・年間購読料3,000円(送料/購読料は会費に含まれています)

坂東玉三郎特別公演より藤本吉利の大太鼓演奏　写真：岡本隆史

◆「鼓童ワン・アース・ツアー 2013～伝説」浅草公演◆

東京スカイツリーで注目を集めている東京・浅草エリア。2013年6月、「鼓童ワン・アース・ツアー～伝説」は浅草で千秋楽を迎えます。鼓童が浅草公会堂の舞台に立ったのは永六輔さん発案の「永六輔＋鼓童(投げ銭興行)」という冒険企画が催された1982年のこと。実に30年振りの公演となります。

公演と合わせて会場周辺の名所散策や食べ歩きなど、浅草界隈の風物もどうぞお楽しみください。

「鼓童ワン・アース・ツアー 2013～伝説」浅草公演

日時：6月6日(木)～6月9日(日) 13:30開場 14:00開演 計4公演
会場：浅草公会堂(東京・台東区)一般発売：2月9日(土)予定
料金：S席7,000円、A席5,000円(鼓童の会会員割引あり)
お問い合せ：鼓童チケットサービス　Tel. 0259-86-2330
※鼓童の会会員の皆様には先行予約を行います。公演詳細につきましては、同封の申込書をご覧ください。

鼓童についての最新情報は、ホームページをご覧ください。
http://www.kodo.or.jp

鼓童事務所へのお問い合わせはこちらへ。
Tel. 0259-86-3630 (代)／Fax. 0259-86-3631
Email: heartbeat@kodo.or.jp

お悔やみ

元小木町役場職員で、宮本常一先生の助言のもと、宿根木の「佐渡国小木民俗博物館」開設に向け、民具収集に携わられた中堀均さんが、十一月十九日に亡くなられました。趣味の版画を、鼓童の初期のパンフレットや、機関誌には連載で掲載させていただきました。

また、丸山集落の鬼太鼓を通じて長年交流いただき、研修所の農作業等で様々ご協力をいただいた源田康広さんが十一月三〇日に亡くなられました。「岩崎伝佐渡鬼剣舞」の会長も務めておられました。

お二人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

▼憂うことの多い昨今の世情。国内の政治も経済も、震災の復興も、沖縄も中東の情勢も。慌ただしい師走に何で選挙！と思いつつ、何かが変わるようにと、ツアーに出るので、期日前投票の日程を確認しました。虚しい気持ちになることも多いのですが、変えるのは自分たちと思って投票にと思います。(美)

▼悲しいことが多すぎて、編集後記がなかなか書けません…。自分に残されている時間がどのくらいあるか分かりませんが、大切に生きよう！そして、お世話になった方々が、私達に伝えて下さろうとした「心」を感じて、次の世代に渡していくことができればと思います。(康)

▼事後報告になりますが、ＴＢＳ番組「情熱大陸」で坂東玉三郎さんへの密着取材が行われ、金丸座公演や鼓童との稽古の様子などが取り上げられ十二月九日(日)に放送されました。番組告知を行えるのが十二月二日からという制約があり、ご覧になれなかった方もいらっしゃるかと思います。どうぞご了承くださいませ。(す)